

# FISHING トピック No.27

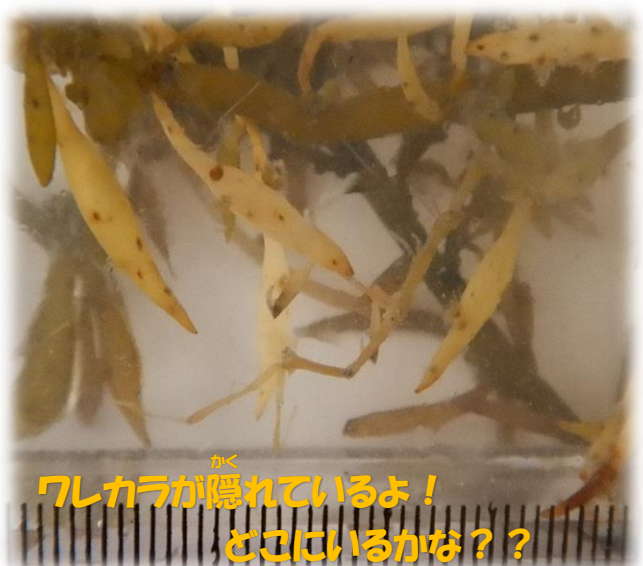
## はる いそば 春の磯場へ

今年も春を告げる渡り鳥『ツバメ』がやって来ました。せっせと巣作りに励む姿を見ながら裏山の整備に行くと春の味覚『タケノコ』があちらこちらに！自然の中は春真っ盛りということで久しぶりに喜多久干潟へ生き物調査に出かけました。海水温が徐々に上がり始め冬の間じっとしていた海の生き物たちも活発に行動しているみたいです。磯場にはムソイヤ



タケノコメバルの赤ちゃん、干潟にはカレイの赤ちゃんがたくさんいました。次々と捕まえて観察していると、とある海藻が生い茂る場所にイカの赤ちゃんを発見！網で掬って中を見てみると…残念ながらイカの姿はなく海藻だけが網に入っていました。海藻を捨てて次の生き物を捕まえようと網を海水に入れると網の中で海藻がうねうねと動いています。よく見ると海藻ではなく生き物のようです。

調べてみると『ワレカラ』でした。海の中で海藻に擬態して暮らしている小さな虫。でも、分類上は甲殻類に属しているのでエビやカニの親戚になります。世界中の海で目撃されていて現在100種類以上いることが分かっています。とても小さく1cmに満たない種類もいます。大きい種類でも5cmほど。小さいからまだ発見されていないワレカラの仲間もいるかもしれませんね！ワレカラを知っている人は少ないかもしれませんが、実は昔から馴染みのある生き物です。和歌のお手本として現代まで伝わっている古今和歌集や平安時代の歌物語「伊勢物語」にも登場しています。一見気持が悪く風貌をしているワレカラですが、海の生き物マニアには絶大な人気を誇っています。海に遊びに行った際はぜひ探してみてください。あなたもワレカラの不思議な魅力にハマるかもしれませんよ！



ワレカラが隠れているよ！  
どこにいるかな??

作成日：令和5年4月14日